みちこだより

2013年6月 No.52
日本共産党笠岡市議団発行

〒714-0081 笠岡市笠岡5945-12
Tel63-6001 Fax63-4164
（日本共産党・笠岡市議会議員 ひのつ倫子）
自宅〒714-0055笠岡市生江浜965 Tel&Fax66-1738 携帯090-2862-4775

6月議会の
議会報告をお届けします。

アベノミクスについて各紙世論調査の中、「読売」では、７６％が『景気回復を実感していない』と回答しています。賃金は下がり続け、企業の設備投資も連続マイナス、急激な円安で、食品、生活用品、電気、燃料油などが高騰し、生活を直撃しています。

笠岡市が、国の暴走に歯止めをかけ、真に市民の暮らしを守り、福祉充実の立場で臨まれることを願って質問に入りました。

認知症の症状改善策について

厚生労働省研究班の調査によれば、65才以上の高齢者のうち、認知症の人が、推計で15%、2012年時点で462万人に上ると伝えています。軽度認知障害の高齢者も約 400 万人いると推計しています。65歳以上の 4 人に一人が認知症とその予備軍となる計算です。

認知症予防対策について、12 月議会で提案した、気軽に自己チェックできる「タッチパネル」導入の再検討を求めました。

また、「香りで認知症アルツハイマー病の改善」ができるとその効果が報告され注目を集めています。報告を参考に、本市での利用を体制の確立と合わせ考えてはどうかとたずねました。

これに対し市長は、「島根大学と民間の開発したタブレット版検査機器を購入予定で、予防、自己チェックに活用したい。香りの有効性は知られているが、広く普及には至っていない。今後研究の動向を注視したい。」と答弁しました。

離島の救急体制充実について

5月NHK番組に離島の救急搬送について白石島の例が取り上げられていました。笠岡市は搬送業務を民間に委託しています。有人7島の救急医療体制充実には欠かせない対策ですが、請負業者の高齢化などの問題もあり、抜本的な対策を求めました。

これに対し市長は、「現状の委託契約を継続することが必要不可欠であるが、救急搬送船のことも含め、他都市の状況も研究していきたい。」と答弁しました。

島に住む人たちの命と健康を守るため、現場に求められる救急体制を、患者の立場に立って研究するよう要望しました。

元気臨時交付金について

「大型公共事業のばらまき、大企業減税の拡充、社会保障の削減、原発の推進、軍事費の拡大など、財界とアメリカ言いなりの政治を完全に復活させる予算案」です。不要不急の大型公共事業よりも国民生活に密着した公共事業を進めるべきです。いろいろ問題点の多い政府予算案ですが、そのうち25年度実施に向けた24年度補正予算「地域の元気臨時交付金」は、身近な公共事業を対象としていて、しかも自治体負担の8割を交付するというものですから、特に有効に活用すべきと考えます。

笠岡市の交付予定額は、市の申請に基づき、約5000万円と決定されています。しかし津山市の約7億円と比較しても格差がありすぎます。申請の観点、決定額の分析について尋ねました。

これに対し市長は、「建設地方債対象事業で、当初予算に計上できなかった事業について庁内から募集し、市民要望を加味して、交通安全対策や公民館改修事業を中心に選択した。1.2億円相当を見込んで申請した3月議会の補正予算で対象となる約4億6千万円分の学校耐震化事業については、補正予算編成後に対象外との情報が届いたもので時期的に見直しは不可能であり、今回の結果となった。」と答弁しました。

地域、PTAなど市民の予算要求が届けられる中、中央とのパイプを密にしながらもっと有効に計画できなかったものかと残念でなりませんでした。

県下15市の（単位千円）交付予定額

岡山市	1,332,207
津山市	723,878
倉敷市	681,429
新見市	351,158
総社市	290,929
高梁市	289,274
赤磐市	283,285
備前市	187,939
井原市	151,138
玉野市	106,884
浅口市	93,725
美作市	93,330
笠岡市	50,520
真庭市	42,319
瀬戸内市	41,348

あしあと

4月

4日　おかげ市で東北支援バザー
5日　竜宮荘運営委員会
8日　生き生きサロン
　　春の交流会遥照山
20日　戦没者追悼式
23－25日総務文教委員会視察（青森・秋田）
25－30日岩手県宮古市被災地ボランティア
26日　仮設住宅訪問聞き取り活動
27日　慰問と被災地視察
28日　無料バザーお手伝い

盛況だったバザー。ご協力頂いた皆さんありがとうございました。売り上げ金など5万円を届けることができました。

29日　福島に支援に行かれた元市民病院医師戸田先生と交流

会場となった保育園で被災者の皆さんに米・野菜・日用品のセットを渡しました

5月

働く人たちの命と健康、暮らしを守るため、「社会保障改悪を許さない政治を」「平和憲法生かす政治を」「最低賃金の引き上げを」沿道の人たちに呼びかけて行進しました。

1日　メーデー参加
2日　中学恩師訪問ミニ同窓会
16日　生江浜老人クラブ総会
17日　総務文教委員会
20日　公共交通特別委員会
25日　金浦小学校運動会
　　金浦地区まちづくり協議会総会

26日　「ひまわり」上映会

26日午後 フラ交流会　（遥照山）

30 日　広報広聴委員会

6 月

1 日　ホリデーチャレンジ参加

2 日　花房泰志先生
　　県文化財保護協会賞受賞祝賀会

3 日　6 月議会初日　－　26 日閉会
　　広報公聴委員会

8 日　ひったか

9 日　おしぐらんご

31 日　対市意見交換会　　金浦会総会

今年も子供たちが頑張りました。
保存会の人たちに支えられ元気に
レースに参加です。

お世話になりました。

★人にも車にも危険な側溝にふたがけをして頂き、安心して通れるようになりました。(相生地区)

★粗悪な路面でしたが、補修して頂けました。(3 番町国道交差点に出る市道)

★生活保護に関わり、ご尽力いただきました。

★韓国コソン市との交流から、国際交流協会でハングル講座を開設して頂きました。

お世話になった皆さん、ありがとうございました。

トピックス

ジェジェッ!!生江浜にイノシシが出た

5 月 19 日、地元の厳島神社にイノシシが出没しました。市の職員、猟友会の皆さんが対応されました。民家の庭に追い込まれたイノシシの捕獲劇は、猟犬の到着で幕引きとなりましたが、山奥で平和に暮らせなかったのでしょうか。